姉妹都市交流 2011

仁賀保中・金浦中の生徒ら18人がショウニー市を訪問

ホームステイ日記

10/20,21 THU,FRI

外に出ると、広がっているのはどこまでも続く地平線。海の近い街に住んでいる僕たちにとっては、何も無い平野はとても広く感じて、日本から来た私たちを優しく迎え入れてくれてるようだった。

遠藤優太郎

10/22 SAT

バスの中で、みんなで歌を歌ったり、手をたたく遊びを教えてもらい、ショウニーの人たちと、少しずつ仲良くなってきた。

山下　達也

10/23 SUN

ホストファミリーと一日の出来事を英語で話した。少しとまどったけど、授業で習った英文や単語を使いしっかりと会話することができた。

山崎　嘉樹

10/24 MON

TDKの工場を見学した。とても広くてびっくり。磁石を作っている機械を見たりもした。工場で働いている人たちが、日本とは違い、ジーンズで働いているのを見て「アメリカらしい」と思った。

斎藤　理菜

10/25 TUE

市内見学ではショウニーの町並みや文化、名物などを深く知ることが出来た。僕は今度はショウニーの人たちに「にかほ」の町並みや文化、名物を見て知ってもらい、お互いの住んでいる所の良さを分かり合いたいなと思った。

村山　信二

10/26,27 WED,THU

最後に、ホストの子どもたちに、私たちはプレゼントをした。

それは、リストバンド。そこには、メッセージを込めた。"Best Friends Forever"

高橋　茉那

ショウニーを訪問して

遠く離れているけど、僕たち中学生の考えていることは似ているんだなと思いました。

大須賀潤也

小さいことでもほめてくれて、とても嬉しかったです。自分も普段からできるようになりたい。

佐藤　岳洋

不安と期待の旅立ち。しかしショウニーの方々はとても温かく、不安はすぐになくなりました。

早道　遥

最後にホストと別れ、バスが出た時は涙が出ました。もう一度、ホストの方に会いたいです。

大滝　眞耶

家族を思いやり、人とのかかわりを大切にするなど、人間として根本的な部分は同じでした。

佐藤　美翠

姉妹都市に、こんなにも良い方々が暮らしていることを知ることができ、とても良かったです。

高橋明日香

「英語を完璧に」「ホストファミリーと再会する」私の新しい目標ができました。

遠田　真央

たくさんの文化の違いの中での1週間は、新しいことを発見するチャンスに溢れていました。

佐々木　恒

写真：グローブ校訪問時　同校生徒たちと

文化の秋をフラッシュ

11月、市内では講演会が盛りだくさんでした。聴講できなかった方のために、一部内容をご紹介します。

野田一夫氏

佐々木常夫氏

11/15

にかほ市工業振興会
創立5周記念講演会
『悲観も楽観も禁物だ』

場所　ホテルエクセルキクスイ
講師　野田一夫氏
名古屋市出身の経営学者。多摩大学名誉会長など。著書多数。

『若者に伝えよう』

終戦直後、若者は生き延びたことにホッとし、皆明るかった。その明るさが、日本の経済成長を支えた根源であった。

現代では若者が、日本の未来が無い・明るい未来の見通しがつかないと暗い。悲観論と楽観論を交錯し伝えるマスコミの言葉を我々がなぞり、若者に押し付けてきたから仕方が無い。

だがこのままでは日本は国民にとって不愉快な国になる。だからそれぞれの人間が若者に教えよう。「一喜一憂せず、目標を持て」「自分のやれることに関心を持て」と。そして我々の生きさまを明るい顔で伝えよう。そうすれば若者は安心して受け入れるはずだから。

11/3

にかほ市文化講演会
『ワークライフバランス
～私は仕事も家族も
あきらめない～』

場所　仁賀保勤労青少年ホーム
講師　佐々木常夫氏
秋田市出身。㈱東レ経営研究所特別顧問。著書多数。

『人と企業の幸せを』

長男が自閉症と分かった後、妻は体調を崩して、うつ病に。妻は3度、自殺未遂を起こした。稼ぎ手である私は、仕事をやめることはできない。仕事・家事・介護に追いかけられる毎日。

仕事では徹底的に計画性と効率性を優先した。初めに全体構想を描く。しっかりとした計画を立てることで仕事は半減する。会議では結論を先行。会議よりコミュニケーションを重視し、部下にムダな仕事をさせない。信頼関係も重要。

こうした努力をしてもなお、定時で帰宅できないことは多い。この講演の副題はウソで、私は仕事だけだったのかも…。たまたま、家族が無事だったから、今こうして講演できる。

「運命を引き受ける」これが私の人生観の真ん中にある。父親を早くに亡くし、妻と長男のこと。仕事にも家族にも責任を持つと決意して、覚悟を決めた。

ワークライフバランスがとれた状態とは、働く人の幸せと企業の生産性向上が両立した状態。残念だが、今の日本企業のリーダーは仕事一筋でやってきた。これからのリーダーは、一緒に仕事をして皆が元気になれる人、であってほしい。

11/18

にかほの青少年
夢・未来育成講演会
『夢を持ち続ければ
必ず叶う』

場所　仁賀保中学校
講師　大野靖之氏
シンガーソングライターとして、小中学校等で講演を中心に活躍中。講演実績600校に至る。

大野靖之氏

『あきらめないで』

乳がんを患った母が闘病中に連れて行ってくれたカラオケで、当時中学2年の自分は夢をみつけた。そう「歌手になる」という夢。

高校3年。母を亡くした。だが、自分は夢をあきらめず持ち続けた。歌える所なら、どこでも出向き歌い続けた。そして23歳。夢を叶えた。

夢がある人・ない人・見つからない人・いつのまにかあきらめた人。それは人それぞれだとは思う。だけどみんなに可能性はあるし残っているんだ。今夢が叶ってないのは、準備が足りないだけ。努力が足りないだけなんだ。遅いことは決してない。今からでもいい。あきらめないで夢を叶えよう。